



Dream

2010年2月号
Vol. 43-8 2010. 2. 1
Bulletin

会長標語 夢、未来 — 友愛の奉仕！

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| 国際会長主題 「一つとなる力」 | Kevin Cummings (C a n a d a) |
| アジア地域会長主題 「一つとなる力」 | Chon Byung-Koo (K o r e a) |
| 西日本区理事主題 「すべてのいのちを大切にーいのち・平和・環境ー」 | 鈴木 誠也 (神戸 ポート) |
| 中部部長主題 「ワイズの理念を胸に自信をもって活動しよう」 | 大島孝三郎 (名古屋ブラザ) |
| クラブ主題 「限りなき熱情を奉仕に」 | |

今月の聖句

兄弟たち。あなたがたは、自由を与えられるために召されたのです。ただ、その自由を肉の働く機会としないで、愛をもって互いに仕えなさい。
ガラテヤ人への手紙5章13節

強調月間 TOF・CS・FF (断食の時・地域奉仕)

2月例会ご案内

◎2月第1例会 オークション

日時：2月4日(木) 18:45～20:30
場所：名古屋YMCA 3階会議室
担当：鈴木孝幸君・八木武志君・杉山敏雄君
開会宣言・点鐘 伊藤貴久会長
ワイズソング
5つの信条 山村喜久君
オークション
メンバースピーチ 杉山敏雄君
<報告>
閉会宣言・点鐘

*今月はTOFの月で食事はありません
会場も通常月と違いますのでおまちがいなく。
*プログラムはオークションです。ファンド作りのため商品の提供と積極的なお買い上げをお願いいたします。

◎2月第2例会

日時：2月18日(木) 19:00～
場所：名古屋YMCA
出席義務：浅野猛雄君

◎2月特別例会

御殿場クラブの当クラブ訪問歓迎交流会
日時：2月11日(木・祝) 18:00～
場所：出雲殿
名古屋市中村区名駅南2-7-46
TEL 052-582-1122

会費：5000円

◎次期会長・主査研修会

日程：3月13(土)～14日(日)
場所：新大阪クライトンホテル

☆お年玉付年賀はがき・切手の抽選結果が発表されました。今年も当選された方には切手の提供をお願いしますが、国際会計年度の変更に伴いCSポイントの締め切りが早められたため、例年のように2月・3月の例会での集計では締め切りに間にあいません。切手はこれまでと同様に例会にお持ちいただくことにしますが、事前に集計するために、提供予定枚数を出欠確認のFAX通信でお知らせ願います。

例会は出席第一、欠席の場合は連絡主事まで連絡を！

	1月在籍者	1月出席者	1月出席率	BFポイント	クラブ役員
1月21日現在	正会員 21名	メン 20名	95.2%	当月切手 Opt.	2009～2010年度 会 長 伊藤貴久 副 会 長 加藤友昭 書 記 杉山敏雄 一般会計 山村喜久 特別会計 鈴木浩之 直前会長 浅野猛雄 連絡主事 松本 勝
	広義会員 1名	メネット 1名		(メイクアップ含む)	
	功労会員 名	コメット 名	前月出席率修正 %	本年度累計	
	計 22名	ゲスト 1名		切手 Opt.	
		他クラブ 名		現金 Opt.	
	合計 22名		合計 Opt.		

強い義務感を持とう。義務はすべての権利に伴う。

◎1月第1例会報告 1月14日(木) 18:45~20:30
 会場:ラ・スースANN 担当:柴田洋治郎君 出席:17名
 メネット:伊藤聡子さん メンバースピーチ:松本君
 ゲスト:野崎 勉さん ニコボックス:7,342円
 卓話「アルツハイマーと新薬開発、大学発ベンチャー」
 講師:鈴木明生氏(名古屋大学環境医学研究所教授)
 鈴木先生は柴田君と濱島君の高校の同級生で、こんなに偉くなるとは、との柴田君の言でした。

今日の話を認知症についてですが学問的な話でなくアンチエイジングについて、脳を守ることに話します。神経細胞というものは分裂も再生もしないので、生まれたとき持っていた数億の神経細胞で回路を作れない細胞は死んでしまう。年をとればおかしくなるのは当たり前である。脳は神経細胞とグリア細胞とでできているが、グリア細胞は分裂再生できるので、脳で守らなければならないのは神経細胞である。神経細胞が退行性変化する(年とって死んでいく)のは生理的老化と病的なもの(神経変性疾患)である。病的なものは全体に細胞が死ぬのではなく特定の細胞群が死ぬ。アルツハイマー病というのは前頭葉、海馬のアセチルコリンという神経伝達をする細胞が死ぬ、パーキンソン病はドーパミンで伝わる細胞が死ぬ。

知能とは医学的には①見当識(時間・場所・人-いつ、どこで、だれといのか)②記憶(短期記憶-記銘)(長期記憶-記憶)③計算力④常識⑤判断力の5つで測る。長谷川式という簡易検査方式で①年はいくつ?②今日は何日?③ここは何処?④さくら、ネコ、電車など関連のない言葉を記憶させあとから聞く(短期記憶)⑤100-7,93-7(計算力)⑥5つの品物を見せ質問する(失語)それを隠して(短期記憶)別の話の後で聞く⑦野菜名を聞く、20/30点以下は認知症の可能性ある。認知症となる疾患は汎山あるか脳梗塞や甲状腺機能低下症の後遺症としてのウツカ認知症と間違えられることがあり、これは治療の可能性ある。神経の変性-原因は分からないままであった神経細胞が死んでいき確実に進行していく。アルツハイマー病・パーキンソン病・ハンチントン病・筋萎縮性側索硬化症など他にも汎山ある。日本人に多いのは脳血管性認知症であり進行しないタイプであるが、最近アルツハイマーと血管性が1:1になり欧米化してきた。正常圧水頭症など治療できる認知症もあり、判別するのが神経内科の仕事である。今、在宅の高齢者の5% 600万人、アルツハイマー病は30-150万と言われ、2020年には200万人を越えると言われ、高齢化社会をむかえとどんどん増加している。

アルツハイマー病などの治療は病気本態をとめる治療法はない。いろんな薬があり一時的によくある場合があるが今はまだ止める薬はない。ある一定の神経系が壊れるからアルツハイマーの唯一の薬はアリセプト(コリンエステラーゼ阻害薬)というコリン系神経伝達の効率を高める薬です。ただ神経細胞はどんどん死んでいくのでこの薬も効かなくなる。神経細胞の死を押さえる薬の開発に取り組んでいる。何種類か効きそうな化合物、グルタミン酸を抑え、神経細胞死を抑える化合物を作ることができた。(動物実験で)ここから薬になるまでが大変な作業になる。まず概念特許の取得と実証、化合物の物質特許を取る。ここま

でが大学の研究室の仕事で、あとは薬屋さんが進めるのだが、今、製薬会社に新薬開発の力が無くなっている。

薬が出来るまで、①試験管データ・動物実験②安全試験(1年以上ネズミ-猿3億~4億円)③臨床試験-第1相(1年間-小人数、健康人、最大安全量)第2相(2年間-少数患者での有効性)第3相(重要・2~3年多数例、用法、容量決定) <ここで厚生省へ認可申請し数年販売>ここまですで10年位かかるが、特許の期限は20年である。収益を得る期間が短いので、すぐ開発できる薬でないと日本のメーカーはほとんど自社で開発できない、しない。

私たちはどうするかという結局自分たちでやろうと会社を作った。大学へ研究費を集め研究開発し、会社と大学と通産省の産・官・学連携のプロジェクトをつくり研究費を集めているが政府の予算は少なく、大学発のベンチャー企業は100社できても1社位残るほどである。ネタはあっても人材と資金が続かない。運営能力、組織マネジメントが弱い。公的資金だけでは限界がある。今後は日本のメーカーや海外の企業と提携するか、大学は研究だけでなく金稼ぎにも頭を使わなければならない現状です。

◎1月第2例会報告 1月21日(木) 19:00~20:30
 名古屋YMCA代官町会館 出席:13名

①2月例会について

2月は第2木曜日が祝日(11日)のため第1例会を2月4日(木)に変更。プログラムはオークション。ファンド造りのため、品物の提供とお買上に御協力下さい。

会場はYMCA(代官町)3階会議室。食事なし(TOF)

◎2月第2例会は2月18日(木)です。

◎2月11日(木・祝)は御殿場クラブとの交流会を開催。会場は出雲殿(名駅南)、会費5,000円。

御殿場クラブから8名(内女性2名)の参加、午前8時頃に御殿場を出発するので名古屋へは昼頃に到着する。伊藤会長、橋爪君などがインター付近で合流し、トヨタ博物館を見学し、出雲殿に車を置いて近くのホテルにチェックイン、時間があればミッドランドスクエアの展望台見学し、午後6時から出雲殿で交流会を開始する。翌12日は午前9時頃に出雲殿ロビーに集合して市内観光(大須?)、昼食は「矢場とん」で、午後3時頃解散。出来るだけ多くの参加をお願いします。

◎名古屋YMCAハイチ地震被災地支援街頭募金

1月23日(土) 14:00名古屋中央教会前集合~16:00
 (2月例会のニコボックスをハイチ募金に献金する)

◎次期会長の指名について

伊藤会長より数名の候補者があったがそれぞれ次年度には困難な事情があり決定に至っていないとの報告があり協議の結果、次期会長に八木武志君を指名することとなった。2月例会において承認することになる。

◎西日本区への後期会費等の納入時期変更に伴い2月15日までに納めなければならない。山村会計、伊藤会長、浅野直前会長の3名が調整し、遺漏ないように納入する。

◎12月第3例会(忘年会) 12月28日(月) 18:30~
 会場:日本海主や(栄) 出席:15名

ゲスト:野崎 勉さん メネット:伊藤聡子さん、杉山由香里さん、野村靖子さん

東海クラブの日溜まり

No. 9 0

- 2010年、早くも2月。この寒さの中にもサクラの蕾はしっかりと膨らんでいます。もうじき春です。
- 金沢クラブの1月ブリテンメネット報を拝見し、山内メネットが書かれた文章に、とても力を与えられました。
- 「私が生きていた証」と題したその一文は、「きりかぶ」という絵本を紹介されたものでした。役立たずと悩んでいた森のきり株が、実は多くの人の役にたっていることに気がつくというお話です。
- 山内さんは「私しかできないことを見つけて」、「少しでも役にたちたい」、「それが生きていた証になるのかな」と結んでいます。ワイズの輪に連なる幸せを感じます。



●ハイチ地震被災地支援街頭募金

皆様、色々な報道でご存知だと思いますが、10万人を超える方が亡くなられたハイチ地震の被災地を支援しようと、YMCA同盟の呼び掛けに応えメールの発信のみ（東海クラブは例会で発表）にもかかわらずワイズ5クラブ、インターアクトの高校生、その他30名の有志が月23日の午後2時中央教会の前に集合、栄三越の天津通り側と、久屋大通り側の2カ所に分かれ、約2時間緊急の街頭募金を行いました。



買い物客で賑やかなサカエと思いきや、寒いせいかわらばらの人通り「こちら名古屋YMCAです。ハイチ地震の緊急支援募金を行っています」通る人に呼びかけます。最初は殆んど反応が無かったのですが、その後立ち止まり財布の中から紙幣を募金してくれる人、お父さんやお母さんに手を取られた小さな子、若い男性の3人組、などが次々と募金箱に硬貨や紙幣を募金してくれました。中には若い女性が2千円も募金してくれたりで感激でした。

今回は中日新聞の24日の朝刊にも報道されましたが95300円程の市民の皆様のご浄財をいただきました。今後も募金活動は続けられると思いますので、次回は是非ご参加下さい。約2時間近く寒い中に立つのは年寄りの身には応えませんでした。
(浅野 猛雄)

時代小説の楽しみ

柴田 洋治郎

私は通勤時に小説を読むことが習慣化している。月3～4冊のペースで、それも廉価な単行本に限っている。小説の種類は8割方江戸時代小説である。若い頃は純文

学、推理小説など他のジャンルのものも読んでいたが、最近ではエンターテインメントとしての時代小説が殆どである。これはストレスの多い仕事の前後に堅いものは敬遠気味になり、せめて通勤時は肩の凝らないものという意識が働いているからと思われる。

江戸時代小説が殆どという理由は、江戸期が近世として現代に通じる習慣、風俗、生活様式の原型があり、理解しやすいことと、勿論、やたらと強い剣豪や正義感あふれる武士、商人等が活躍し、難事件を解決してゆく姿をみて、昨今の凄惨な事件や政治のありかたと照らし合わせた時、胸のすく思いに駆られるからである。

また、現代の日本では失われつつある義理人情、粹、矜持の念等が表現されていることも多く、良き日本の文化や奥深い日本語の表現方法の再認識につながる思いもある。

今は現代なのになぜ時代劇かという疑問も起こるが、時代小説の書き手は現代を無視して過去の世界を描いているのではないと思う。現代の様々な問題を時代小説という手法で表現しているのかも知れない。

会長メッセージ

健康こそ、財産！

09～10年度
会長 伊藤 貴久

皆さんこんにちは。早いもので新年が始まりもう一カ月が終わりましたね。年明け入院してご心配をおかけしました事、お詫び致します。恥ずかしながら、ただの「痔」でしたが、痛みがなく出血した時は正直心配で、病院に行き手術となりました。



入院を兼ねて初めて上から下からカメラを飲んで細かい検査を受けてなんと！大腸と胆のうと胃腸から4個のポリープが見つかりました。

幸い細胞検査の結果「今の段階」では心配ないとの事で安心しましたが、これを機会に、毎年苦しいですが会社の健康診断とは別に、細かい検査も受けようと思いました。

自己管理の出来ているメンバーの皆さんにおきましては当たり前のお話だと思われそうですが、今後もお互い健康管理には注意しましょう。若造の私が言うのもなんですが、「健康こそ財産」だと親から教えられ、近年自負しております。

昨年は最後の根の上ワークで怪我をし、近日体にメスを入れる事が多いですが、見える傷はわかり易いですが、内面の傷はわかりにくく「静かなる爆弾」が今回はとり合えず痔の手術のお陰で不発に終わりそうなので、安心しました。

しかし私もですが、酒豪、喫煙者の方は人一倍健康管理には注意して、生活習慣を改めましょう。

◆例会出席・BF・ファンドポイント表(1月21日現在)

No	開催日	1	1	12	1	1	メークアップ他	個人ポイント	ファミリーP	ファンドP	CSポイント (7~12月)	BFポイント (7~12)	FFポイント (7~12)	TOFポイント	YYファンド (7~12)	
		・14	・21	・28	・11	・16										・23
氏名		第1	第2	第3	第4	第5										
1	浅井秀明	広義会員							1	3	0	,750	,824	400	,880	,750
2	浅野猛雄	◎	◎	○	○	○		37	5	3,100	,750	,824	400	,880	,750	
3	伊藤貴久	◎	◎	◎				37	5	14,550	,750	,824	400	,880	,750	
4	遠藤一	◎	◎					11	22	5,700	,750	,824	400	,880	,750	
5	加藤友昭	◎	◎					6		4,900	,750	,824	400	,880	,750	
6	柴田 滯	◎	◎	○	○			23	1	6,600	,750	,824	400	,880	,750	
7	菅沼東平	◎	◎	○	○			7		,300	,750	,824	400	,880	,750	
8	杉山敏雄	◎	◎	◎				26	8	8,200	,750	,824	400	,880	,750	
9	鈴木一弘	◎		○				13	3	,800	,750	,824	400	,880	,750	
10	鈴木孝幸							8		8,700	,750	,824	400	,880	,750	
11	鈴木浩之	◎	◎	○				18	4	5,000	,750	,824	400	,880	,750	
12	長屋勝彦	M		○			12購3	7	2	,900	,750	,824	400	,880	,750	
13	野村秋博	◎	◎	◎	○			19	10	9,650	,750	,824	400	,880	,750	
14	橋爪良和	◎	◎	○	○			33	7	10,000	,750	,824	400	,880	,750	
15	長谷川臈	◎	◎	○	○			37	2	5,500	,750	,824	400	,880	,750	
16	服部敏久	◎						7		1,500	,750	,824	400	,880	,750	
17	濱島 誠	◎		○				8		2,000	,750	,824	400	,880	,750	
18	深川 直	◎	◎					13		1,500	,750	,824	400	,880	,750	
19	松本 勝	◎	◎	○	○			40		1,350	,750	,824	400	,880	,750	
20	八木武志	◎	◎	○	○			38	2	4,300	,750	,824	400	,880	,750	
21	山田英次	◎						7		1,500	,750	,824	400	,880	,750	
22	山村喜久	◎	◎	○				19		7,700	,750	,824	400	,880	,750	

◎お誕生日おめでとうございます

メン 深川 直君 2月 5日
 ネット 橋爪圭子さん 2月13日
 遠藤恭子さん 2月21日
 長谷川君子さん 2月21日
 濱島正子さん 2月25日

◎結婚記念日おめでとうございます

柴田洋治郎君・純子さん 2月17日
 伊藤貴久君・聡子さん 2月23日
 浅野猛雄君・美也子さん 2月28日
 鈴木孝幸君・純子さん 2月28日

◎会計より 会費納入のお願い 一般会計 山村喜久

今年は会費その他合計月額 7,000円納入して下さい。
 (年額:84,000円 半年:42,000円 3月:21,000円)
 会費の納入はなるべく銀行振込でお願いします。

一般会計の銀行口座は、
 三菱東京UFJ銀行 鳴子出張所(ナルコ)
 普通預金 口座番号No.3542610
 名義人 名古屋東海ワイズメンズクラブ

◎おとなりのクラブの第1例会

名古屋クラブ 2月 9日(火)
 南山クラブ 2月 4日(木)
 ブラザクラブ 2月 4日(木)
 グランバスクラブ 2月 6日(土)

◆2009~2010年度名古屋東海ワイズメンズクラブ役員

会 長:伊藤貴久 副 会 長:加藤友昭
 直 前 会 長:浅野猛雄 書 記:杉山敏雄
 会 計(一般):山村喜久 会 計(特別):鈴木浩之
 連 絡 主 事:松本 勝 ネット連絡員:橋爪圭子

Yサ・ユース:鈴木一弘・長屋勝彦 EMC:柴田洋治郎・濱島誠一郎
 地域奉仕・環境(CS):服部敏久・菅沼東平
 交流(IBC・DBC):野村秋博 ファンド(クワント):鈴木孝幸
 根の上担当:遠藤一・山田英次 メール委員:伊藤貴久
 ブリテン:八木武志・深川 直・橋爪良和(ホームページ)
 広 報:深川 直・長谷川和宏<西日本区広報事業主任:長谷川和宏 中部広報主査:深川 直>

『今月の西日本区月間強調活動は「TOF・CS・FF」です。西日本区地域奉仕事業主任の遠藤通寛さん(大阪泉北クラブ)は「TOF・CS・FF資金はワイズ活動のエネルギーの源、おおいに活用しましょう!」と呼びかけています。
 『奉仕クラブの基本的問題について』<ワイズ読本・小堀憲助氏(元中央大学教授)>より-32ページ
 *奉仕のあり方について ワイズメンズクラブは団体的金銭補給源が限られているがゆえに、社会福祉問題に対してはあまり力があるとは言えない。社会的な規模における奉仕に関する限りでは、クラブの名前で、世の為人の為に使える力をそう大きく持っているわけではない。それは悲観することでも、なんでもない。』